



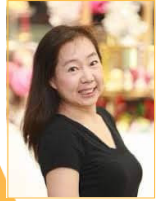
ダンスで体と心に元気をチャージ!  
家族の健康を応援します。

制作 / まさ出版 構成・文 / 安井雅子  
デザイン / 倉谷聡美 制作プロデュース / 園部由美

NPO法人「ダンスラボラトリー」理事長

園部由美さん

2014年に、川崎市高津区で任意団体「ダンスラボラトリー」を設立(2017年にNPO法人となる)。「障がいがあってもなくても楽しくダンス」をテーマに、誰でも気軽に参加できるダンス教室を主宰。地域の人たちと障がい児者をつなぐ活動を行っている。



# Inclusive Dance



## NECダンサーズとコラボで活動する ダンスラボラトリーQ&A



### Q どんな活動をしているの?

A ダンスを通して「障がい」という垣根をなくしたい。その願いを実現するために、2014年から活動を続けてきました。ダンス教室を定期的で開催するほか、放課後等デイサービスで障がいのある子どもたちが参加するダンスのワークショップを行っています。また、障がい児者を身近に感じていただくため、市民を対象にしたボランティア育成講座を企画しました。

### Q NECダンサーズとのコラボのきっかけは?

A 川崎市が主宰する交流会で、NECの長谷川貴司さんと出会い、オリジナルのダンスミュージックを作曲していただくことになりました。「インクルーシブ・ダンス」の魅力をもっと多くの人に広めたいと思い、NECダンサーズと一緒に、さまざまなイベントに出演しています。

Dance Laboratory  
舞陽

障がいがあってもなくても  
みんなて楽しく踊れる  
チームを作りたいです

### 動画で楽しくダンスをおぼえよう!

「NECけんぼ」で動画レッスンを公開中。毎月少しずつ振付をおぼえて、1曲踊れるようになればいつの間にかダンスが日課に!さあ、あなたも一緒にLet's Dance!



<https://www.neckenpo.or.jp/douga/>

みんなも一緒に踊ってみよう

### みんなのダンス動画を募集中!

右のアップロードサイトから自撮りのダンス動画を投稿して下さい。投稿していただいたものをひとつの動画に編集し、11月に公開する予定です。

投稿フォームはこちら  
締め切り2021年10月31日まで



次号は、インクルーシブ・ダンスチーム「RAYVEL」です。

そのために、まず、地域の人たちに障がい児者のことを知ってもらうことから取り組みました。お祭りやイベントなどに積極的に出演。地域に根付いた活動をコツコツと続けました。すると、イベントを見てくださった方が「この前ステージに出てたね」と声をかけてくださるようになったのです。最初は2人だったメンバーも、今では約60名。地元の川崎市だけではなく、横浜市や都内からも出演依頼がくるようになりました。チームの合言葉は、「障がいがあってもなくても楽しくダンス」。その輪が今、大きく広がっているのを感じています。

皆 さんは、ふだんの暮らしで障がいのある人を見かけたことがありますか? 地域には、多くの障がい児者が暮らしていますが、健常者と接する機会は、あまりないのが現状です。ダンスラボラトリーを立ち上げたのは、知的障がいのある長女が高校を卒業したことがきっかけでした。娘は高校のダンス部に所属していて、踊ることが大好き。体を動かしているとき、表情が生きていて楽しんでいるんです。卒業後もダンスを続けられる場を作りたい。さらに、ダンスを通じて、障がいのある人となんか人をつなぎ、ともに暮らす地域を育てていきたいと考えました。